

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (  可  否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 信 仰	(ふりがな) しんこう	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	ハヤマ信仰 (託宣)		
伝承地域	飯館村大倉		
由来	<p>(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか)</p> <p>福島県内にはハヤマと呼ばれる秀麗な山が点在し、豊作を祈る信仰がある。阿武隈山地に多く分布し、羽山、葉山、端山、麓山などの字をあて、奥山に対する里山の意である。信仰の対象は山そのもので、古態を保つものには社殿はない。</p>		
内容	<p>「火つるぎ」が済むと、再び祭壇の前にノリワラ (宣童)、籠もり人達が座に着く。この間に、僧侶が一般参詣人から託宣の依頼を受ける。ノリワラは、ハヤマ祭りの最も重要な部分であり、ハヤマの神がついたノリワラに、僧侶が翌年の村落生活全般の禍福、稲の作柄、天候、一般農作物、養蚕などに関する伺いを立てる。次に、籠もり人個人の託宣があり、依頼人の託宣と続く。託宣を受けた依頼人は、初穂を上げる。託宣が終了すると、僧侶達は般若心経を唱え数回拍手を打つ。ノリワラは、持っていた宣幣を突然投げだし、僧侶一人がノリワラの背中に指で字を書くとハヤマ神はノリワラから離れていき、ノリワラは正気に戻る。が終わると、「ごんだち」、「おやじ」と呼ばれる大人の籠もり人によって「権現様のお田植え」の行事が行われる。これで、この日の神事は全て終わり、籠もり人は各自家路につく。</p>		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	飯館村教育委員会	電話0244-42-1611	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)	.....	顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご惠与願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。)
	性別・年齢 生年月日	男 ・ 女                      歳 明治・大正・昭和・平成                      年    月    日 生	
	住所・電話	〒 電話	
	職 業		
本 団	団体名 (ふりがな)	.....	

代表者氏名 (ふりがな)	
団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日
問い合わせ先	電話

【フリーフォーマット】

キーワード

<ノリワラの託宣>



(飯舘村教育委員会)